

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状

担当エリアの人口は13957人、高齢化率が24.5パーセント、となっています(2021年3月現在)。少子高齢化が進んでいます。2019年11月に羽沢横浜国大前駅が開業し、2023年3月には相鉄・東急直通線が開通する予定です。今後、駅周辺の開発で交通や買い物等の利便性の向上が期待される他、バリアフリー基本構想にもとづいた、街づくりも行われています。一方で、環境の変化への対応や、大規模マンションや等の建設が進み、新たに移り住んでくる住民層とのつながりや協力をどう進めていくかが課題でもあります。

「助けられ上手、助け上手な街、羽沢」のスローガンのもと、地域福祉保健計画、羽沢プロジェクトなどの住民活動が活発に取り組まれており、その結果として多くのサロン等や子どもの居場所が立ち上がりました。区民意識調査においても、近所付き合いのしやすさ、定住意向などの向上がみられています。また介護事業所等にも理解が得られ、取り組みへの参加、協力がみられています。

課題としては、いまだ孤立している世帯は多くあり、つながり作りための多様な取り組みと継続が必要になることがあります。また、地域での子育てについての検討など、取り組みが広がる中、担い手の裾野をひろげ、みんなで自分事としてすすめていく地域づくりが必要です。身近なつながり作りから、具体的な見守りや支えあいの仕組みづくりへとすすめていくに当たっては、多様な主体、機関との連携、協働もより深めていく必要があります。

今後の方向性

地域の様々な課題にさらに取り組む、解決していくために、取り組みを、よりすそ野へと広げていくことが必要になっています。そのためには、身近なつながりや顔の見える関係づくりをすすめてつつ、担い手の発掘・育成、お互いさまに助け合える地域文化の啓発、ひいては、地域コミュニティそのものを醸成していくことが大切です。

また、それらに長期的、計画的に取り組むために、多様な課題を、丸ごと受け止め、多くの関係者とのネットワークを広げ、実効的な取り組みの推進母体を構築していくことも、大切だと考えています。さらに、コロナ禍における取り組み方の工夫を積極的に取り入れ、新たな地域づくりの在り方も模索していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢分野のみならず、子どもや障がい、生活困窮者等の情報も随時蓄積していきます。把握した情報に関しては所内で共有するほか、可能な範囲で、地域住民や事業所、他機関等と共有できるよう、対応していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	助けられ上手助け上手なまち羽沢のスローガンにある助けられ上手に焦点をあて、羽沢版向こう三軒両隣の仕組みづくりをすすめていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	住民主体で動き出した羽沢子育て支援ネットワークの円滑な運営ができるようにサポートを行っていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	区と連携し、元気づくりステーションの継続的な支援や体力測定の担い手の育成、また、介護予防普及啓発事業やシニアクラブ出張健康講座の啓発・コグニサイズを周知し、住民が主体的に取り組むことができるよう支援していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネジャーに地域資源の情報提供や仲介、ケアマネジメントスキル向上等を随時支援しつつ、他のケアプラザとも連携して研修の場を設けます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

【各項目の振り返り】

【全体を通して】

区からのコメント

### 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	・相談時の事業所の紹介にあたっては、必ず事業所の一覧表を提示したうえで、ご利用者様が主体的に事業所の選択ができるよう、情報提供を行います。	・個人情報に係る研修を全職員へ行います。 ・毎月の職員会議に置いて、市内事故状況を共有し、必要があれば予防策を講じます。
実績		

### 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	ご本人が目標の達成に取り組んでいけるよう必要なサービスや地域のインフォーマルサービス等を組み込み、地域の特性を生かし、心身機能・活動・参加にバランスよく、アプローチする支援ができています。	
職員体制	管理者:常勤兼務 看護師:常勤兼務 主任介護支援専門員:常勤兼務 社会福祉士:常勤兼務	
契約者数		

### 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	-------------------------------------------------------------------	--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	ふれあいコンサート&朝いち	R2	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	つながりや見守りをテーマに、地域の方々がつながれる「場」づくりを通して、全世代がつながり・役割・居場所により、その人（子）らしく成長することができる、ふれあい活動を通しての地域づくりをすすめる。	5：地域		実施時期：未定 事業内容：コンサートと朝いち
2	若竹苑出張相談会 さくらサロンみやむかい	H28	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	羽沢エリアは交通の便が悪く、地域包括支援センター若竹苑のある場所まで相談に来ることが難しいという課題がある。そこで、地域の誰もが集まる「場」を利用し出張相談を開催することで、気軽に相談できる場を提供することを目的に開催。	1：高齢者		実施時期：毎月第3水曜 事業内容：介護保険の相談、健康相談、見守りキーホルダー登録、地域活動紹介など
3	若竹苑出張相談会 長谷サロン	H30	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	羽沢エリアは交通の便が悪く、地域包括支援センター若竹苑のある場所まで相談に来ることが難しいという課題がある。そこで、地域の誰もが集まる「場」を利用し出張相談を開催することで、気軽に相談できる場を提供することを目的に開催。	1：高齢者		実施時期：毎月第2火曜日 事業内容：介護保険の相談、健康相談、見守りキーホルダー登録、地域活動紹介など
4	子育て支援ネットワーク みちあそび	R4	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	子育て支援に関する講座を、地域と連携して開催し、新たな担い手の発掘やネットワークづくりをすすめる、地域づくりにつなげる。	4：子ども・青少年	4・5	実施時期：未定 事業内容：ご近所の道などでイベントを仕掛けることでご近所同士の交流を深め見守りを仕掛ける。
5	羽沢子育て支援ネットワーク	R2	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	親子のおかれている状況、背景を地域全体で共有し、自分事として取り組める地域づくりを目指す。	3：養育者及び乳幼児	4・5	実施時期：毎月第1金曜日 事業内容：子育て中の親子を見守る地域づくりについて
6	外遊び応援隊コラボ事業	H30	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	①子ども対象の事業に高齢者がボランティアとして関わることで、世代間交流を行う ②世代間交流をしかけることで、地域での見守りの輪をつくる。	3：養育者及び乳幼児		実施時期：7月・9月 事業内容：水遊び
7	つどいの広場しゅーくるーむ コラボ事業	R2	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	子育て中の親子と地域の方をつなぐ世代間交流を目的に実施する。	3：養育者及び乳幼児		実施時期：10月下旬 事業内容：ハロウィンイベント
8	北部ウォーキング実行委員会	R3	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	コロナ禍で地域のつながりが希薄している中、地域イベントをとおしてつながりづくりを行うとともに地域の人材育成を図る。	5：地域		開催時期：11月頃 事業内容：ウォーキング
9	けあまねカフェ	H27	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ケアマネジャーをはじめとして、羽沢地域に関わる事業所の横のつながりをつくりながら、医療と介護の連携、地域住民との連携、スキルアップを勧める。	6：事業者	1・5	実施時期：毎月第2水曜日 事業内容：協力医である小川橋医院、鈴木医師を交えて、医療的な質問等も多く出る。そのほか、意見、情報交換等を行う。